

関係地区の皆様

国道 20 号諏訪バイパス事業化区間の地質調査へのご協力のお願い

国土交通省長野国道事務所
下 諏 訪 町

平素より国土交通省の道路事業及び下諏訪町の道路事業につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国道 20 号諏訪バイパスにおいては、令和 5 年 1 月に都市計画変更手続きが完了し、同年 4 月より諏訪市上諏訪～下諏訪町東町の区間 (5.6 km) が事業化となりました。同年 10 月より各地区にて開催させて頂きました説明会にてご説明させて頂きましたとおり、今後の詳細な検討や設計等に必要となる地質調査を下記のとおり実施いたしますので、ご理解・ご協力の程よろしく願いいたします。

なお、地質調査につきましては安全第一に行いますが、ご不明点等がございましたら、下記の問合せ先までご連絡をお願いいたします。

記

1. 調 査 位 置：裏面をご覧ください。

2. 調 査 内 容 (1) ボーリング調査：12 箇所

(2) 物理探査 (弾性波探査・電気探査)：延長約 4km

(1) ボーリング調査： 地下の地質状況を確認するため、ボーリング調査孔を掘削して地中の岩石や土砂などを採取します。

(2) 物 理 探 査： 地表近くに配置した計器で振動や電気の伝わり方の違いを測定することにより、地下の状態を調査します。
地盤の硬さを調査するため、振動の伝わる速さを測定する「弾性波探査」と、地層の種類や地下水の有無等を調査するための電気抵抗を測定する「電気探査」を実施します。

3. 作 業 時 期：令和 6 年 8 月 19 日から令和 7 年 1 月 31 日まで (予定)

作業時間は 8:30～17:00 とし、日祝日は休工します。

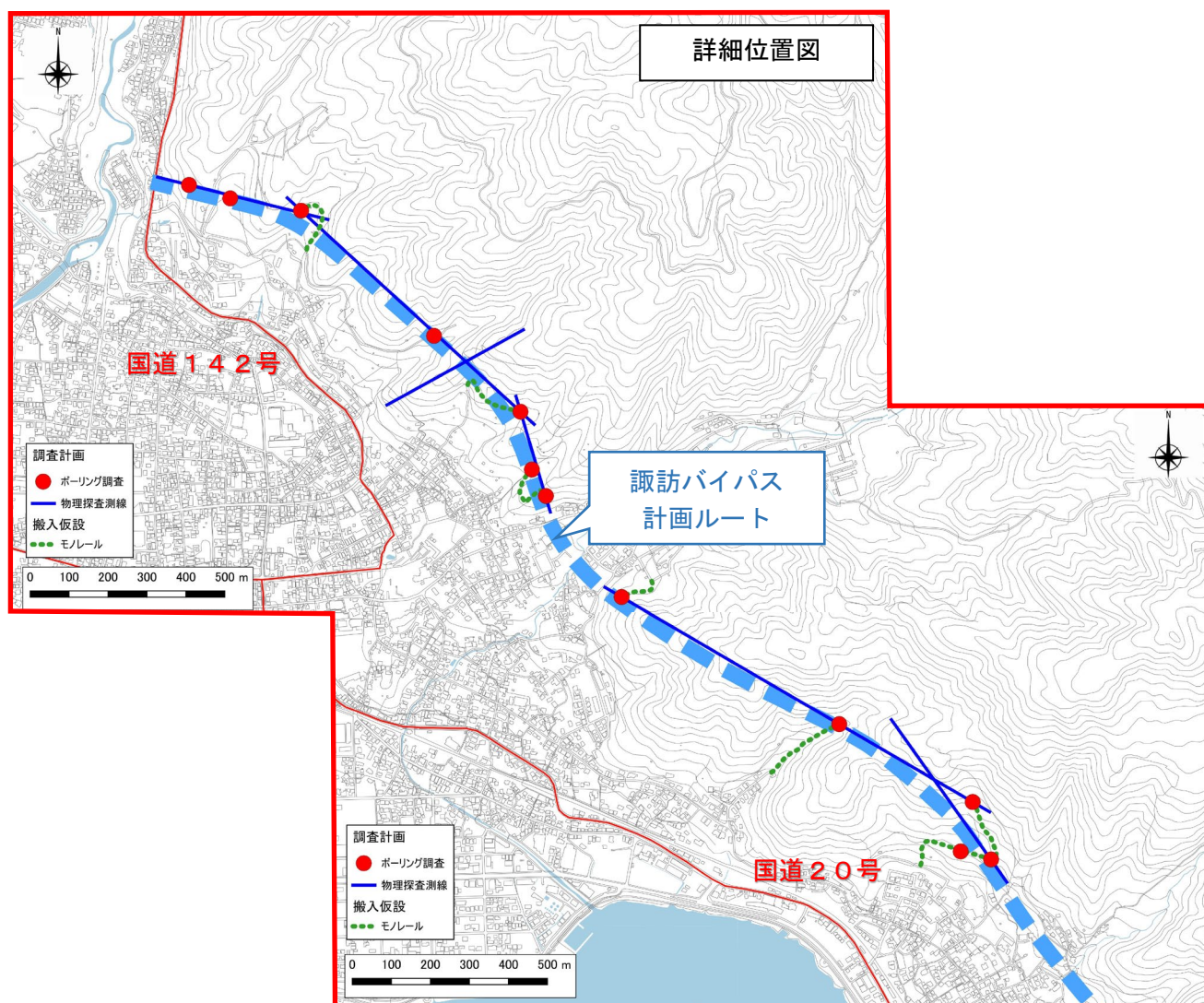
4. 問合せ先：

<発注者> 長野国道事務所 道路事業推進室 担当：黒岩、石井、吉野、小高		住所：長野市鶴賀字中堰 145 電話：026-264-7009
<調査担当会社> 株式会社エイト日本技術開発 防災保全部 担当：渡辺、石渡、山本、佐々木、齋藤		住所：東京都中野区中野 2-24-11 電話：03-5341-5159
<下諏訪町窓口> 下諏訪町建設水道課 国道バイパス推進室 担当：中谷、遠藤、畠山		住所：下諏訪町 4613 番地 8 電話：0266-27-1111 (内線 247)

◎調査位置



地理院タイル淡色地図
(国土地理院)に諏訪
バイパス、詳細位置図
範囲を追記

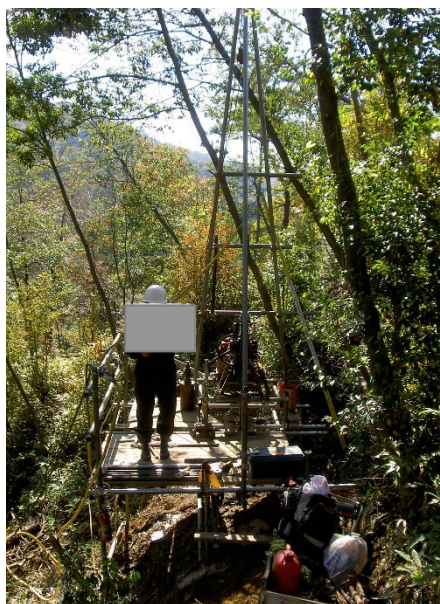


※調査地点やモノレールの位置は計画のため、現地状況により若干の変更が生じる可能性があります。

◎調査内容

(1) ボーリング調査

- ・ 以下の写真に示すようなボーリング調査を行います。
- ・ ボーリング調査地点まで機材を運ぶため、モノレールや運搬車による運搬を行います。
- ・ ボーリング作業を行う際には、該当する土地所有者の方に作業内容をご説明し、ご了解を頂いた上で作業を行います。
- ・ ボーリング調査後、必要な個所については地下水観測孔を設置する計画ですが、該当する土地所有者の方に内容をご説明し、ご了解を頂いた上で設置を行います。



ボーリング作業の例



運搬車による機材搬入の例



モノレールによる機材搬入の例



地下水観測孔の例



孔内観測機器の例

(2) 物理探査（弾性波探査・電気探査）

- ・弾性波探査は少量の火薬を用いて振動を起こし、振動の伝わり方で地盤の状況を把握する調査です。
- ・電気探査は地面に小電流を流して、電流の伝わり方で地盤や地下水の状況を把握する調査です。

① 弾性波探査作業手順（このような現地作業を行います）



バイパスルート上にケーブルと振動を感知する受振器を設置します



掘削した深さ 50cm 程度の発破孔に火薬を充填し防爆シートを被せた上で発破します



受信器より得られたデータを測定・記録します

- ・発破音は最大でも、水田などで利用されている「とりおどし」程度の音です。
- ・発破後、異常がないか周辺を点検し、発破箇所の埋め戻しを行い、原形復旧します。
- ・全作業終了後、受振器、ケーブル等、全ての設置物を撤収します。

- 1) 作業前 : 火薬を使用致しますので、土地所有者または管理者の方のご了解を得てから作業を行います。
- 2) 測量 : 弾性波探査を行う前に、ケーブル設置のための測量作業をさせていただきます。その際、現地に木杭を設置させていただきます。
- 3) 伐採 : バイパスルートに沿って、下草、雑木の伐採が若干発生します。樹木については伐採致しません。伐採については土地所有者または管理者の方のご了解を得てから作業します。
- 4) 人員 : 作業中は、作業員、見張員等含めて、5～8 名程度が現地に入ります。
- 5) 安全 : 作業時には道路際、山道等の人が出入りする道に地質調査中の看板を掲げます。また、発破の際は拡声器等を用いて警戒の呼びかけと目視点検を行います。

② 電気探査作業手順

ケーブル設置等の作業は弾性波探査と同じです。火薬の使用はありません。